



CHINA

JAPAN



展示会

見所その①
レプリカに触ることが出来ます!!

見所その②
疑問があれば
その場(図書館)で
解決出来ます!!



「文字をさわろう!」

☆ 茨城大学図書館 1階展示スペースにて

☆ 2008.06.21(土)~2008.06.29(日)

平日 10:00 - 18:00

土日 10:00 - 17:30



☆ 問い合わせ先: 茨城大学文化財教室

suzukia @ mx. ibaraki. ac. jp

○ 茨城大学五浦美術文化研究所 後援

ロビー展「文字をさわろう！」のご案内

ロビー展「文字をさわろう！」開催チーム代表
人文学部文化財教室 4年 岡沙織・石川侑子

私どもは、将来文化財に関わる仕事に就くことを目標に、学芸員資格取得の関係講義や実習を受講して参りました。

2008年1月に受講した館務実習では、博物館における考え方や方法を実地に学び、展示する側からの視点で問題点を分析し展示企画案を作成する、という得難い機会を与えて戴きました。しかし、単なる立案だけでは所詮机上の空論に過ぎず、上記企画案に基づく展示を実現し検証して初めて、本当の能力が身に付くとの思いを強く抱きました。加えて筑波大学世界遺産専攻において毎年実施されている「学生自身による展示の実践」に触発され、別紙により、本学においてもこのような企画を実現したいと考えました。

この度、茨城大学附属五浦美術文化研究所の後援を戴き、また、学内外のたくさんの方々にご助力を戴いて、漸く実現の運びとなりました。展示スペース約50平米というこぢんまりとした催しですが、おもしろい展示を目指してがんばっておりますので、ぜひお越しく下さい。

皆様方のご指導をいただけましたら幸甚に存じます。

文字をさわろう！

— 文字の変遷と日中文化交流 —

I：目的

中国に生まれ、日本に輸入されて我々の文化のバックボーンにもなった「漢字」の歴史的変遷を、誕生から今日に至る種々の資料を通じて示し、さらに自ら調べる環境を提供することで、水戸市を中心とした地域社会の人々に、東アジアと日本のつながりを知って戴く一端とする。

II：コンセプト

1：さわって実感できる展示

展示品は全てレプリカとし、参観者に自由に手にとって見てもらうことで、ガラスケース越しでは味わえない「実感」を持って戴く。また、通常の展示では実現し得ない「視覚障害者の方にも楽しんで戴ける展示」を目指す。

2：自分で考え・その場で調べることができる、能動的展示

「モノが充実している博物館」と「書籍が充実している図書館」は、通常は別組織として運営されている。このため一般の来館者、とりわけ小中学生にとっては「モノを見ること」と「本を読んで自分で調べること」とが乖離しがちである。この展示は「図書館で開催し、興味を持った参観者がその場で豊富な蔵書を活用して自ら調べ・考えることを可能にする」すなわち「図書館と博物館のコラボレーションによって初めて可能となる、能動的な展示」を目指す。

III：対象

近隣の小中高高校生・大学生・一般市民

IV：日時・場所

1：日時

2008年6月21日(土)～29日(日)

平日：10:00～18:00 土日：10:00～17:30

2：展示場所

図書館1階 展示ホール（面積約50平米）

V：主な展示品（予定。いずれもレプリカ）

1：古代中国の文字資料

・甲骨・青銅器・印章 など

2：日本の文字資料

・青銅鏡・木簡・かわらけ・皇朝銭・古文書 など